

2025年3月期中間 決算説明会資料

日東工器株式会社

東証プライム：6151

技術で、人を想う。

2024年12月4日

CONTENTS

- | | | |
|-----------|-----------------------------|-------------|
| 01 | 2025年3月期中間 決算概要 | P.05 |
| 02 | トピックス | P.18 |
| 03 | 2025年3月期 業績計画・株主還元 | P.24 |

特別調査委員会の調査報告書受領について

● 経緯

- 9月12日 特別調査委員会の設置に関するお知らせ
- 11月 1日 特別調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ
- 11月14日 過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ
- 11月26日 特別調査委員会の調査結果を受けた再発防止策の策定等に関するお知らせ

連結損益に与える重要性を鑑み、2022年3月期以降の決算を対象とした訂正を行い、有価証券報告書、四半期報告書、内部統制報告書および決算短信の訂正開示を2024年11月14日に行っております。

● 再発防止について

特別調査委員会の調査結果を真摯に受け止め、再発防止策の提言に沿って具体的な再発防止策を策定し、着実に実行してまいります。

【再発防止策の概要】

- (1) 栃木日東工器における原価計算関連業務プロセスの見直し及びこれに沿った運用の徹底
- (2) 栃木日東工器におけるシステム管理者と経理担当者の兼務の制限
- (3) 栃木日東工器におけるジョブローテーション
- (4) 在庫残高推移のモニタリング改善
- (5) 全社的な視点での内部統制の再構築及びモニタリングの改善

株主の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は速やかに再発防止策に取り組むとともに、コンプライアンス意識をより一層高めて健全な組織風土を醸成することで、皆様からの信頼回復に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2025年3月期
中間

売上高、営業利益ともに前年同期を下回ったものの、 営業利益率は引き続き二桁を維持

- 売上高は前年同期比-3.2%、販管費は増加したものの、値上げによる価格転嫁で営業利益率は10.3%を確保

2025年3月期
計画

増収増益、中間期業績予想に対してはほぼ計画どおり進捗

- 計画に対する進捗率は売上高が47.8%、営業利益が45.4%、純利益は特別調査委員会の調査費用と会計監査費用の特別損失計上もあり、42.3%となった

株主還元

25年3月期の年間配当金は48円を予想

- 株主還元基本方針：連結配当性向40%を目処

CONTENTS

- | | | |
|-----------|--------------------------|-------------|
| 01 | 2025年3月期中間 決算概要 | P.05 |
| 02 | トピックス | P.18 |
| 03 | 2025年3月期 業績計画・株主還元 | P.24 |

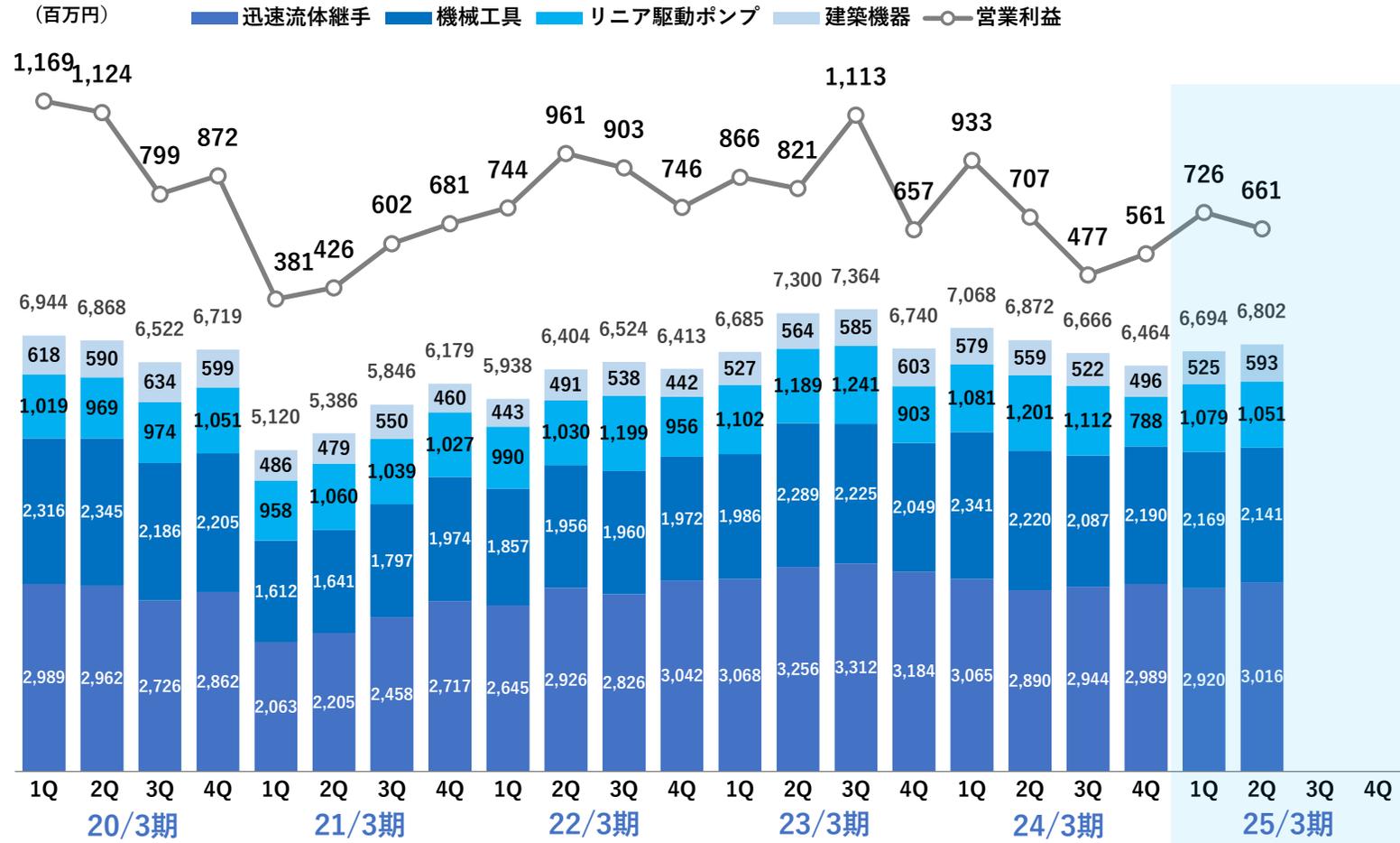
2025年3月期中間 連結業績

(単位：百万円)

	24年3月期中間		25年3月期中間		増減額	増減率
	額	率	額	率		
売上高	13,941	-	13,497	-	-443	-3.2%
売上原価	7,500	53.8%	7,191	53.3%	-308	-4.1%
売上総利益	6,441	46.2%	6,306	46.7%	-134	-2.1%
販売管理費	4,799	34.4%	4,918	36.4%	118	+2.5%
営業利益	1,641	11.8%	1,387	10.3%	-253	-15.4%
経常利益	1,743	12.5%	1,476	10.9%	-267	-15.3%
特別利益(補助金収入)	147	1.1%	-	-	-147	-
特別損失	-	-	97	0.7%	97	-
親会社に帰属する 当期純利益	1,234	8.9%	938	7.0%	-295	-24.0%

- 売上高は前年同期を下回る
- 人件費の上昇により販管費が増加するも、営業利益率は二桁を維持
- 栃木日東工器株式会社における棚卸資産残高の過大計上の疑義に関する調査費用及び会計監査に係る追加費用等（97百万円）を特別損失に計上

連結売上高/営業利益 四半期推移



【25/3期 中間（1Q比）】

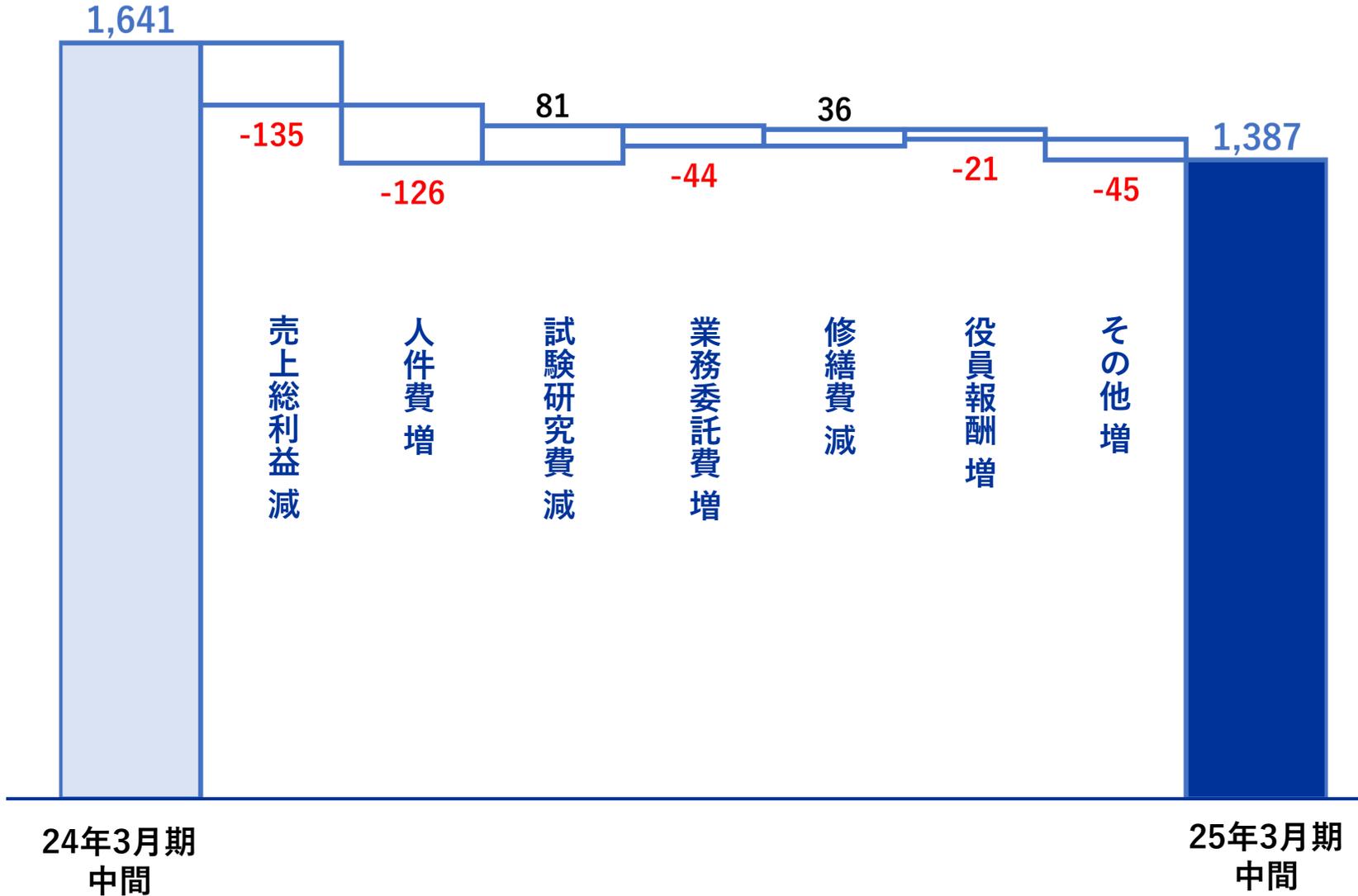
- 未実現利益の増加と労務費上昇の影響により原価率が増加し、営業利益が減少

(百万円)

売上高	27,054	22,533	25,281	28,091	27,072	28,240(予)
営業利益	3,965	2,091	3,253	3,459	2,680	3,060(予)
営業利益率	14.7%	9.3%	12.9%	12.3%	9.9%	10.8%(予)

営業利益変動要因

(単位：百万円)



営業利益は減収と人件費の増加に伴い減少

【内訳】

- 原価率は低下したものの、売上高の減少により売上総利益が減少
- 人件費と業務委託費が増加

地域別売上実績

(単位：百万円)

	24年3月期 中間	25年3月期 中間	増減率
国内	9,199	8,790	-4.4%
海外	4,741	4,707	-0.7%
海外比率	34.0%	34.9%	
米州	1,260	1,253	-0.6%
欧州	1,018	1,094	+7.4%
東アジア	1,243	1,124	-9.6%
アジア・大洋州	821	852	+3.8%
東南アジア	396	382	-3.7%

- 国内は機械工具とリニア駆動ポンプ事業の需要減少が影響し減収
- 海外は機械工具の需要減少が影響し減収
- 欧州はブロワ需要の回復で売上増加
- 東アジアは中国経済の減速によるリチウムイオン電池製造工程向け製品の需要減少

為替の営業利益に与える影響

(単位：円)	24年3月期 中間	25年3月期 中間	25年3月期 計画	通貨別 営業利益影響額 (百万円)	
USドル	144.99	161.07	150.00	USドル	46
ユーロ	157.60	172.33	160.00	ユーロ	26
英ポンド	182.95	203.48	185.00	英ポンド	9
豪ドル	95.77	107.00	96.00	豪ドル	8
タイバーツ	4.07	4.36	4.00	タイバーツ	-94
				合計	-4

※中間は6月末レート

- 仕入れを中心に、タイバーツの為替が影響

(単位：百万円)	24年3月期	25年3月期 中間	増減額
流動資産	42,501	39,658	-2,842
現金及び預金	25,157	20,983	-4,173
棚卸資産	9,527	10,073	545
固定資産	22,565	26,647	4,082
資産合計	65,066	66,306	1,239
流動負債	3,570	3,991	421
固定負債	4,321	4,230	-91
純資産	57,175	58,084	909
負債純資産合計	65,066	66,306	1,239

将来的な成長のための投資を実行

(単位：百万円)

	24年3月期 中間	25年3月期 中間	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,437	1,108	-328
投資活動による キャッシュ・フロー	-3,229	-5,068	-1,839
財務活動による キャッシュ・フロー	-1,356	-847	508
現金及び現金同等物 の期末残高	17,418	14,153	-3,265

セグメント別売上高

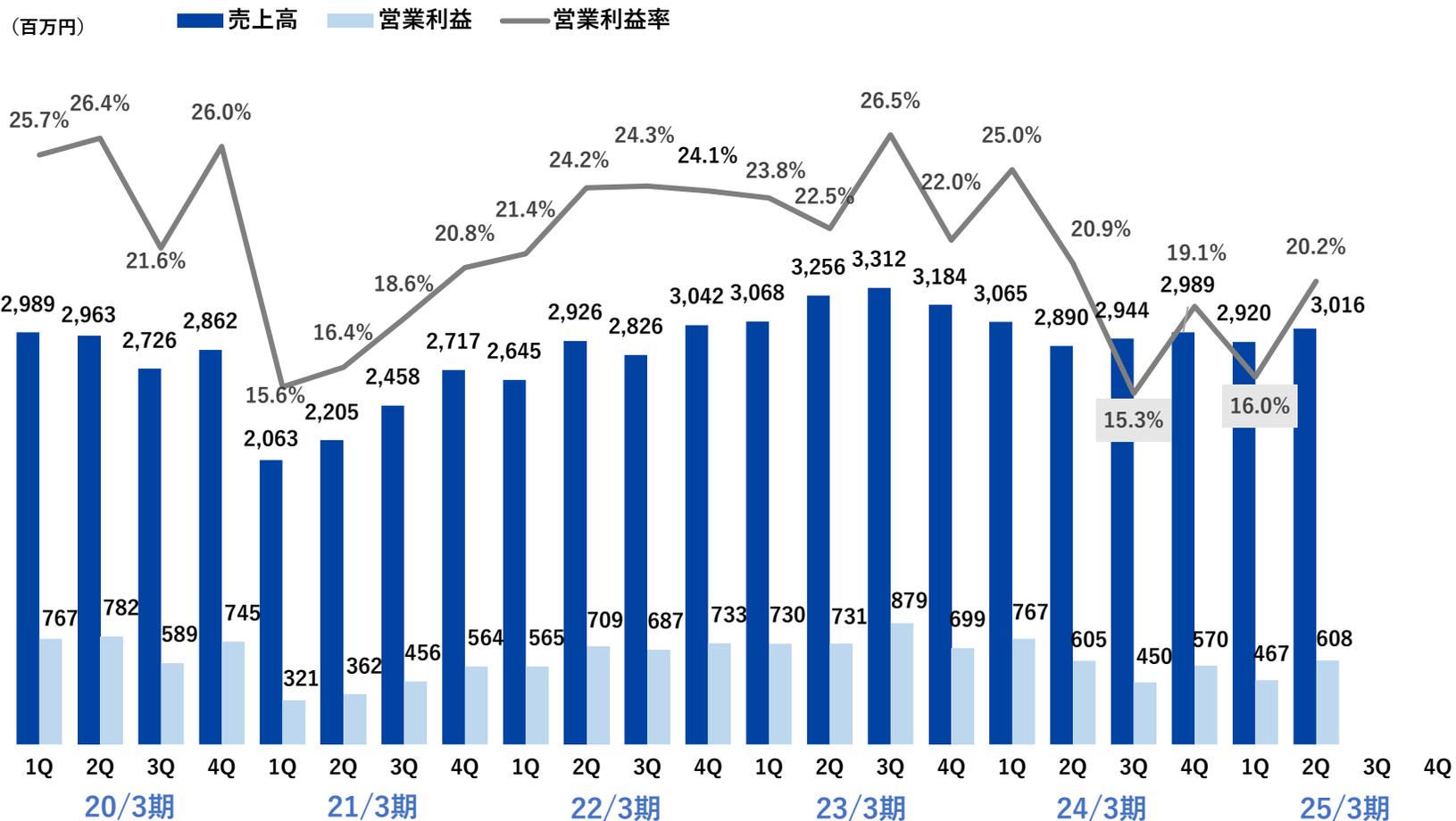
(単位：百万円)

	24年3月期 中間	25年3月期 中間	増減率
売上高	13,941	13,497	-3.2%
迅速流体継手	5,956	5,936	-0.3%
機械工具	4,562	4,310	-5.5%
リニア駆動ポンプ	2,283	2,131	-6.6%
建築機器	1,139	1,119	-1.8%
営業利益	1,641	1,387	-15.4%
迅速流体継手	1,373	1,076	-21.6%
機械工具	343	267	-21.9%
リニア駆動ポンプ	-59	55	—
建築機器	-15	-11	—

- 主力の迅速流体継手の売上高はほぼ横ばい
- 機械工具は減収および生産工場での労務費増の影響により減益
- リニア駆動ポンプは減少率が最も高かった一方、営業利益は前年同期の赤字から黒字に転換

迅速流体継手事業 四半期業績推移

(単位：百万円)	24/3期中間	25/3期中間	増減率
売上高	5,956	5,936	-0.3%
営業利益	1,373	1,076	-21.6%
営業利益率	23.0%	18.1%	-4.9pt



【25/3期 中間】

売上高 前年同期比 -0.3%

営業利益 前年同期比 -21.6%

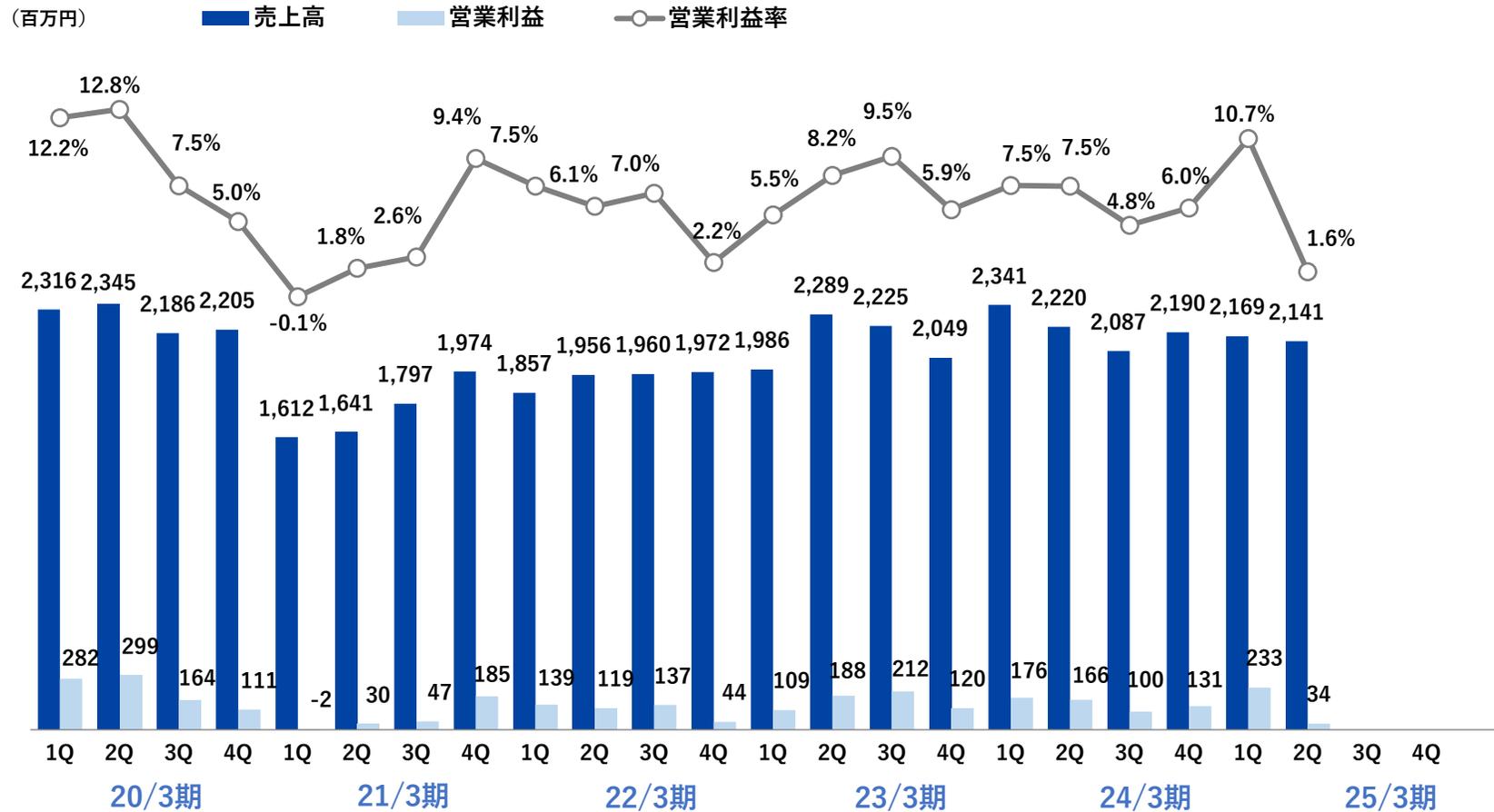
- 中国経済の減速に伴い、リチウムイオン電池製造工程向け製品の需要減少が主な要因
- 生成AIの普及に関連する半導体製造装置向け製品は需要増加
- 販管費増による原価率上昇から減益

(単位：百万円)	24/3期中間	25/3期中間	増減率
売上高	4,562	4,310	-5.5%
営業利益	343	267	-21.9%
営業利益率	7.5%	6.2%	-1.3pt

【25/3期 中間】

売上高 前年同期比 -5.5%

営業利益 前年同期比 -21.9%

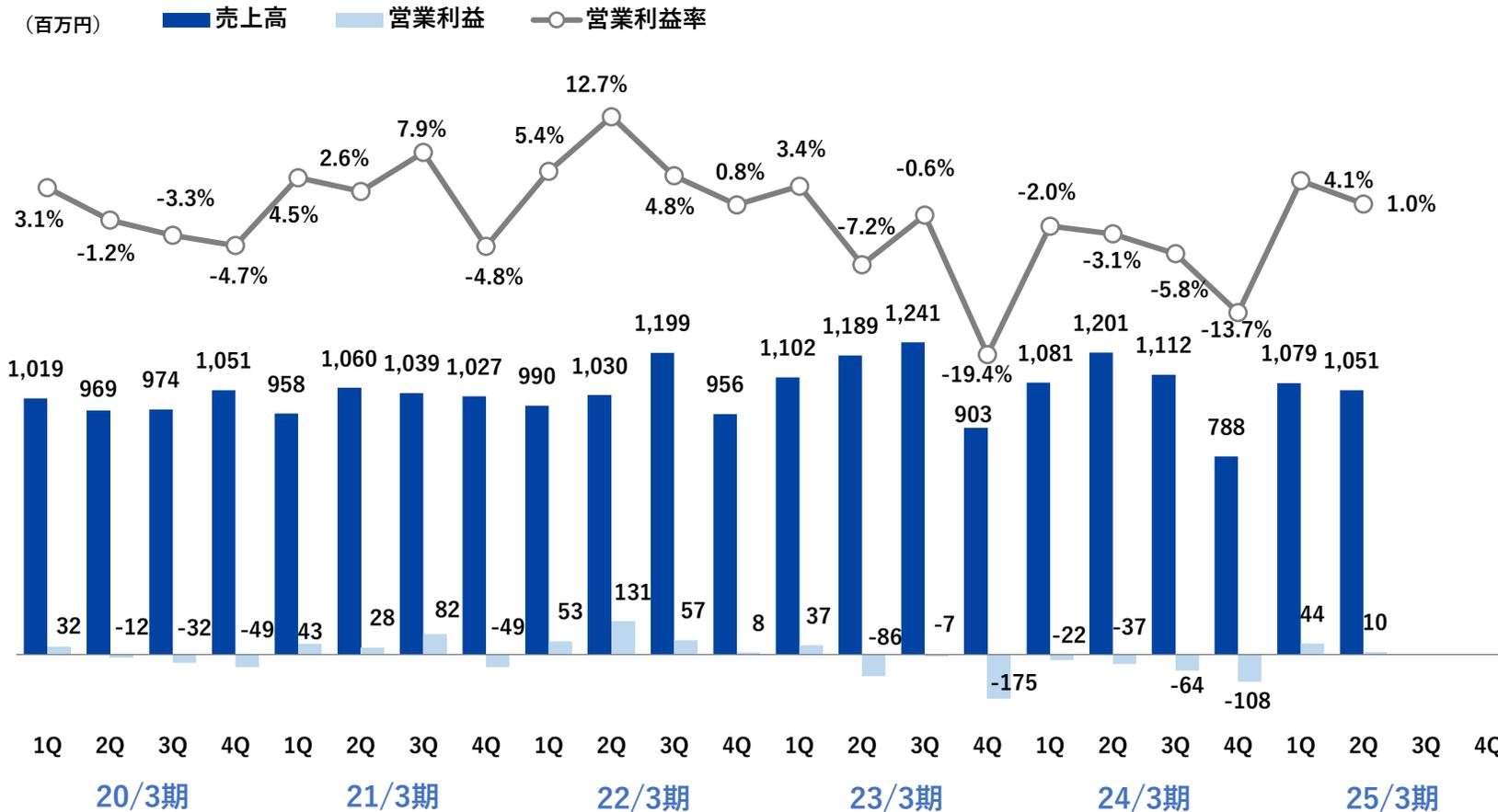


- 国内外の売上減少
- 減収および労務費上昇で利益減少

リニア駆動ポンプ事業 四半期業績推移

(単位：百万円)	24/3期中間	25/3期中間	増減率
売上高	2,283	2,131	-6.6%
営業利益	-59	55	—
営業利益率	—	2.6%	—

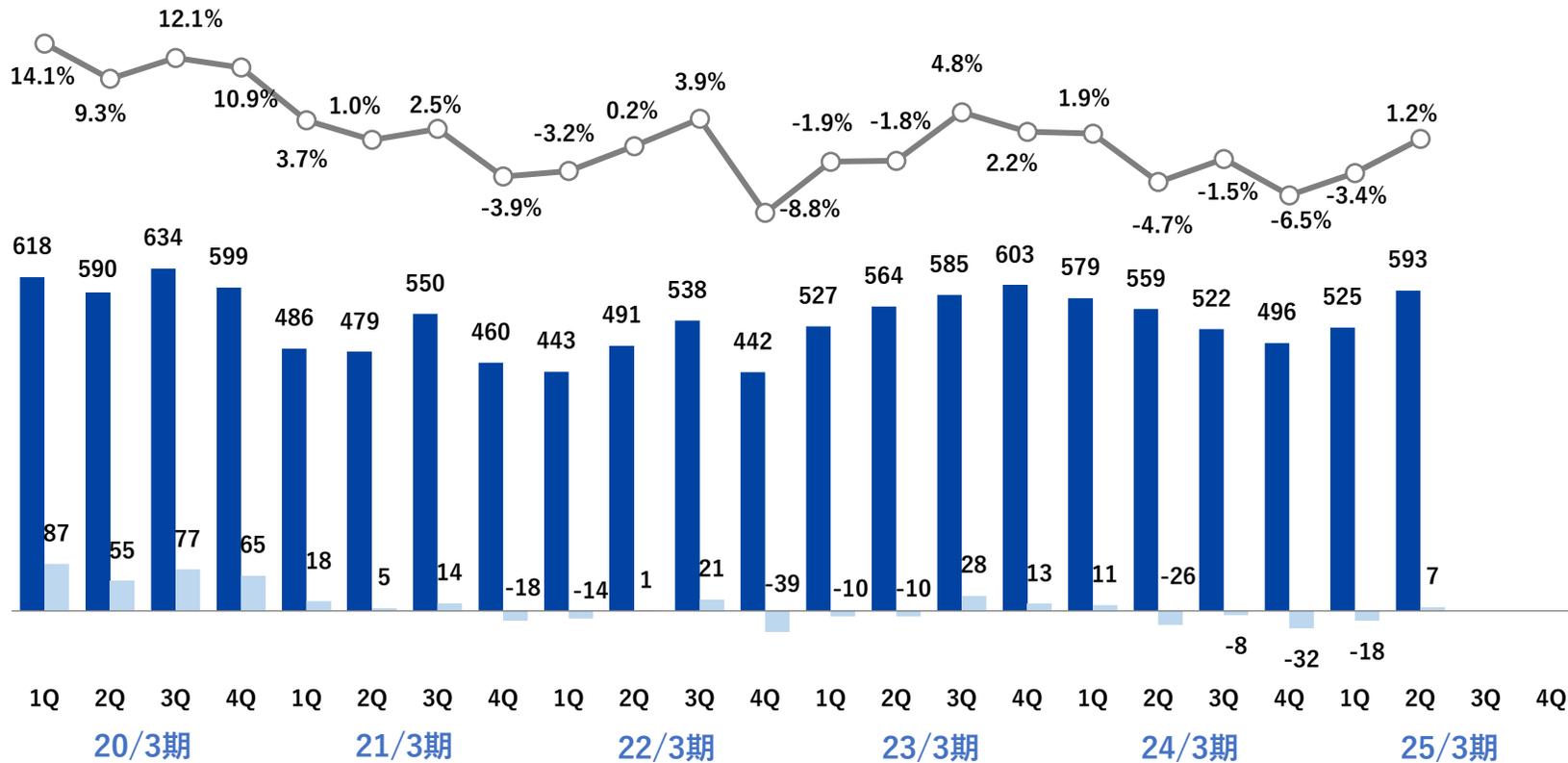
【25/3期 中間】
 売上高 前年同期比 -6.6%
 営業利益 55百万円



- 欧州でのブロワ需要が回復
- 国内の需要減と米州における医療機器向けポンプ需要回復の遅れ
- 値上げと経費削減により黒字に転換

(単位：百万円)	24/3期中間	25/3期中間	増減率
売上高	1,139	1,119	-1.8%
営業利益	-15	-11	—
営業利益率	—	—	—

(百万円) ■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率



【25/3期 中間】

売上高 前年同期比 -1.8%

営業損失 11百万円

- 建設業界での資材高騰及び人材不足の影響による遅延や延期により減収
- 経費削減に努め、前年同期より赤字幅は縮小

CONTENTS

- | | | |
|----|--------------------|-------------|
| 01 | 2025年3月期中間 決算概要 | P.05 |
| 02 | トピックス | P.18 |
| 03 | 2025年3月期 業績計画・株主還元 | P.24 |

新会社設立により、成長市場インドにおけるさらなる事業拡大を目指す

当社グループ会社はインドを成長著しい有望市場として捉え、2015年に駐在員事務所を開設し、市場情報を収集してまいりました。

インドは国を挙げて製造業の強化に取り組んでおり、今後も自動車、空調、医療等、当社が強みを発揮できる業界の更なる拡大が予想されることから、インドに現地法人を設立することになりました。

今後はより主体的な取り組みを行い、さらなる事業拡大を図ってまいります。



名称	NITTO KOHKI INDIA PRIVATE LIMITED
所在地	Gurugram, India
設立日	2024年9月10日 (2024年12月営業開始予定)
資本金	INR230,000,000 (約 4.2 億円)
事業内容	インドにおける当社製品の販売

ホンダ「CR-V e:FCEV」に新規搭載、燃料電池車向けのシェア拡大へ

高圧水素充てん用迅速流体継手「HHVカプラ」

- 水素ステーションからの高圧水素ガスを充てんするための接続口
- 独自の内部構造により、車両側からの水素ガスの逆流や異物の流入を防止

採用実績

燃料電池車

ホンダ「CR-V e:FCEV」 **New**

トヨタ「新型クラウン」

トヨタ「新型MIRAI」

燃料電池バス

トヨタ「SORA」



新型燃料電池自動車「CR-V e:FCEV」

製品ラインアップ拡充により、水素社会の実現に貢献してまいります

様々なモビリティ、
定置式/移動式燃料電池への水素充てん

FCフォークリフトや
水素FC船への水素充てん

省力・省人化のニーズに対応する新製品の拡充

4月中旬

「フローモニター FMC-25」を新発売 **New**

- 射出成形品の品質の安定を低コストで実現
- コンパクトな設計により狭所での取付けが容易に
- モニターレンズの交換で視認性の低下に対応



5月初旬

電動吸着ハンド「EVE-500」を新発売 **New**

- 直流電源24V駆動の真空ポンプ内蔵
- 従来方式と比較し消費電力8割削減
- コンバム社製の吸着パッドを標準採用



5月初旬

コードレスベルトン「CLB-10」を新発売 **New**

- バッテリー駆動の小型軽量モデル
- ベルト回転速度と回転方向を調整可能
- 過負荷検知機能あり



今後の需要拡大に向け、2025年度に福島市に新工場を操業開始予定

当社グループ会社であるメドテック（山形市）と白河日東工器（白河市）が2024年3月1日付で合併いたしました。社名を「東北日東工器株式会社」へ変更し、2社を集約した新工場を福島市に建設中です。場所は東北中央自動車道 福島大笹生インターチェンジ近くの工業団地内に立地します。新工場に関する情報をHPにて随時更新していますので、ぜひご覧ください。

新工場に関する最新情報は [こちら](#)

» [新工場に関する情報をHPにて随時更新中](#)

2024年8月30日 建物の骨組みまで完成、上棟式を実施 **New**

用地 (所在地)

福島おおざそうインター工業団地内
福島県福島市大笹生宮ノ下1-1ほか

事業内容

機械工具、電動ドライバ「デルボ」、建築機器（ドアクローザ）、迅速流体継手「カプラ」、小型ポンプの製造

- 日東工器グループの全製品を生産できるマルチ工場
- 最新設備の導入による生産の省力・省人化および効率化



[「新工場特設ページ」](#)

当社グループに関する理解とコミュニケーションの深化により、さらなる企業価値向上へ

「統合報告書2024」を公表（2024年8月31日）

- 価値創造の原点からサステナビリティへの取り組みまで

非財務情報やサステナビリティ関連の情報開示の充実を目的にリリース。当グループの統合報告書は、今回が初の発行となる。

「日東工器の価値創造ストーリー」と「日東工器のサステナビリティ経営」を主軸に、「日東工器とは」の基本的な会社情報からESG関連の非財務データまでを掲載。

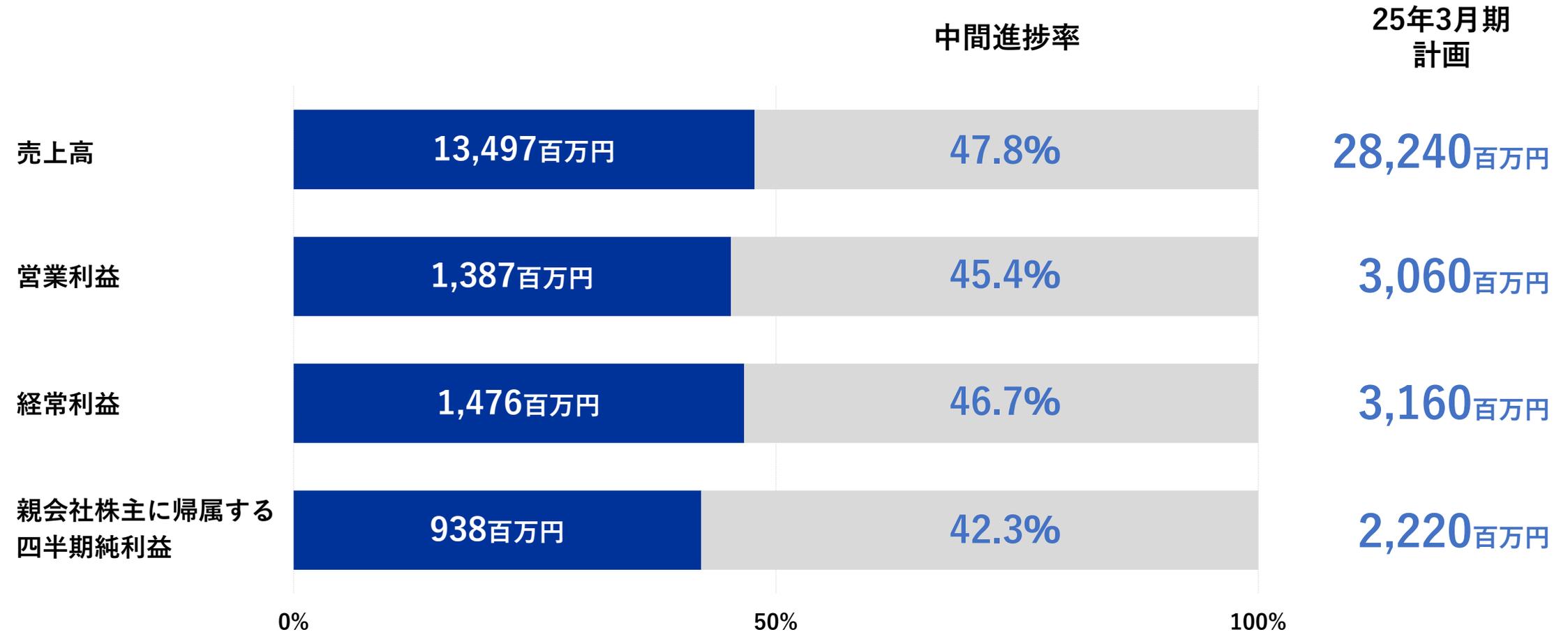


「統合報告書2024」

CONTENTS

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 01 2025年3月期中間 決算概要 | P.05 |
| 02 トピックス | P.18 |
| 03 2025年3月期 業績計画・株主還元 | P.24 |

売上高進捗率47.8%、営業利益進捗率は45.4%と通期業績予想達成に向け進捗



(単位：百万円)	24年3月期 実績	25年3月期 予想	増減率
売上高	27,072	28,240	+4.3%
迅速流体継手	11,891	12,480	+5.0%
機械工具	8,839	9,190	+4.0%
リニア駆動ポンプ	4,183	4,350	+4.0%
建築機器	2,158	2,220	+2.9%
営業利益	2,680	3,060	+14.2%
営業利益率	9.9%	10.8%	+0.9pt
経常利益	2,821	3,160	+12.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,841	2,220	+20.6%

売上高 前期比 +4.3%

営業利益 前期比 +14.2%

- 迅速流体継手は、自動車業界や新分野の設備投資需要を着実に取り込む
- 機械工具は、自動機搭載用工具の引き合いが増加中。営業活動をより一層強化する
- リニア駆動ポンプは、組み込み用ポンプの在庫調整解消による売上回復を見込む
- 建築機器事業は、順調に推移する見込み

総還元性向

18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期予想
40.4%	40.2%	87.3%	84.1%	42.6%	54.9%	153.2%	59.5%※

自社株買い

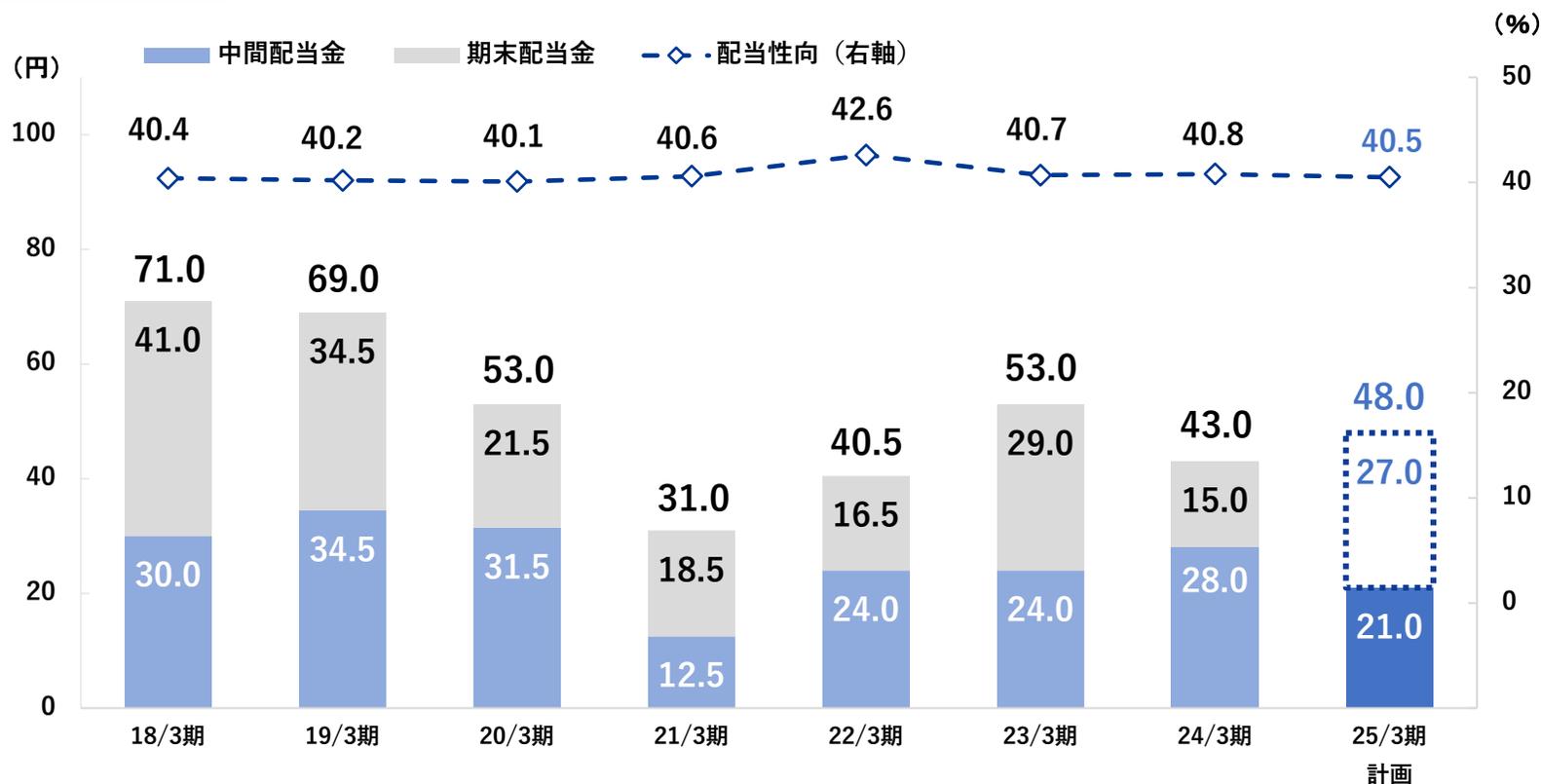
自社株買い

自社株買い

自社株買い

※2024年5月9日時点での想定値

配当推移



【株主還元基本方針】 連結配当性向40%を目標

- 2024年2月～4月に約21億円の自社株買いを実施、104万株を取得。5月に同数を消却。



当資料に記載されている将来の業績の見通しは、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、これらの見通しと大きく異なる結果となる場合がありますことをご承知おきください。

取材のお申し込み先

経営企画部 石井・若松

TEL : 03-3755-9970 E-mail : ir@nitto-kohki.co.jp